

名古屋放送・テレビ朝日 (国際児童年記念番組)

総理と一〇〇人の子供たち(抄)

(昭和五十四年八月四日)

司会 そろそろ大平さんがお見えのようです。拍手で迎えて下さい。大平総理大臣です。

(拍手に迎えられて総理登場。何人かの子供と握手をかわして席に着く)

大平 大平正芳です。きょうは皆さん良くいらっしやいました。きょうは楽しく、児童の年にちなんですごしたいと思います。いい思い出になるようにやりたいものと思います。よろしく。

司会 大平さん、はじめてですか。面と向かった感想を聞いてみましょう。何か感想ありますか。

— テレビでみるよりかっこいい。

— アノネ。やさしそつで楽に話せると思います。

— 実物で見る方が足短かいし、(笑い)それから、何かいっちゃべった時、そんなにアーウー言えへん
(スタジオ爆笑)

総理への子供たちの質問

— 好きなスポーツは？

大平 自分でやる方はいまゴルフだけ。見る方は、野球も、テニスも、バレーボール、バスケットボールも、ピンポンもみな、見てますよ。

— 好きな歌手は？

大平 たくさんおりますネ。昔から好きなのは、男ではフランク永井とかね。女でいいますと島倉千代子さんとか、ひばりさん。美空ひばりさんとか。ああいう所は古くから親しんでいますよ。

— 小さい頃、何になりましたかったですか？

大平 学校の先生になりましたかったです。

— 小学生の時の成績教えて下さい？

大平 そつねえ。良く覚えていませんけど、六十年前だから。良くもなく、悪くもなかったのではないかな。

— 水泳は何メートル位泳げますか？

大平 何キロぐらいか、ためしたことがありませんけど、若い時は相当泳いだものです。今は泳ぎませんが。

大平首相の子供時代を紙芝居仕立てで紹介したあと

司会 喧嘩はどうでした？

大平 強い方じゃなかったな。あまり喧嘩はしない方でしたな。

司会 仲裁役が多かった？

大平 仲裁するほど分別もなかったけれど、むしろなだめる方の側だった。

司会 子供のころどの位勉強しましたか？小学校の時、勉強する時間がどの位ありましたか？

大平 勉強は学校でしてましてね。本と筆筒とか帳面とか風呂敷に包んで、ここへこうくくりつけて。

(腰のあたりに手をやって) 学校から帰るとそのままほっといて、すぐ仕事をしましたよ。

司会 仕事といますと？

大平 田んぼが忙しい時は田んぼに行く。それからうちでいろいろ副業がありましたね。麦稈はつかんきぬだを編ん

だりね。

司会 (子供たちに) 麦稈真田ってわかりますか？ 麦わら帽子の材料ですね。

大平 そつそつ。このころの皆さんはそつという仕事をしなくなつたけれど、われわれの時はずいぶん仕事をしましたよ。

(といいながら、首相自ら麦稈真田を編みはじめる。)

司会 一日どの位お編みになりました？

大平 二十六間が一反でしてね。半反とか一反とか ノルマというか、責任量がありましたね。それを

果たさないと遊ばしてくれなかった。

司会 当時、普断は白米をあまりめしあがらなかったんですか？

大平 麦を米とまぜて食べておりましたが、お祭りとかお正月は、麦が入らなくてお米だけでした。普通の日は麦をまぜて食べていました。

子供記者会見

— この先ずっと総理大臣をつづけて行きたいですか？

大平 国民にやらしていただける間、やらなきゃならんと思います。

— 総理の初恋はいつでしたか？

大平 そつね、中学時代かな。ほのぼのとした初恋を感じたのは

— 奥さんのことをどう思っていますか？

大平 うーん。これで四十二年余り一緒に暮らしてきたわけですから、世界で一番近い人ですね。

— 国会はいつ解散するのですか？（笑）

大平 まだ決めておりません。

— 魔法使いから魔法を三つもらったとします。そしたら大平さんはそれを何に使いますか？

大平 もっと頭が良くなりたいですね。その次に健康になりたいですね。そして皆さんにもっと親切になりたいですね。

— 政治家になるには、何が一番大事だと思っっていますか？

大平 政治家というのは、国民に対する奉仕者ですから、まず国民のことを自分のことより先に考えるということじゃないですか。

— 大平さんはなぜ総理大臣になったのですか？

大平 最初から総理大臣になろうと思ったことはないんですけど、政治家としてやっておる間にこういう立場になったのです。ですからそういう運命ですかね。なるうと思っただけではございません。

— ライバル意識をもっているのは誰ですか？

大平 エーいたる所にライバルがおりますね。私よりすぐれた頭のいい人もおるし、素晴らしい人が沢山おりますから、そういう方々には、やっぱりライバル意識を感じないわけじゃない。世の中で総理大臣になる人が一番偉いという意味じゃなくて、たまたま私はなつたわけですから、もっと偉い人が沢山おりましてね。私より立派だと思ふ人には負けたくないなという意味がライバル意識だとすれば、しよつ中感じておりますね。

— 大平さんは子供の時どんなことをして遊びましたか？

大平 そつね、鬼ごつことか、かくれんぼとか、戦争ごつことですかね。ここに紙切れをつけておつて、とりあつて紙がなくなった方が負けという遊びとか、陣取り合戦とか、紙をひっくり返しますね。メンゴ。そついう遊びをいろいろやりましたね。

— 大平さんのお母さんの、きびしかった思い出とやさしかった思い出を教えてください。

大平 そうね。大体私に勉強しなさいとか、仕事しなさいとか、遊びなさいとかいう命令を母が……母が命令権を持っていたね。だから母の方が父よりこわかったんだ。それだから父の方がやさしいように思うんだ。母が非常にきびしかったですね。しかし、まあ、そういう仕事をみんな終えた後、あつたかいご馳走を作ってくれたり、何か新しいはきものを買ってくれたりしてくれた時のやさしさは覚えておられますがね。だから私は子供の時、そういう意味で幸せだったと思つ。相当きびしかったですけどもね。

— 大平さんは自分のどこが良くて、どこが悪いと思えますか？

大平 うーん、まあ健康であること。それからいい友達をもち、いい郷土をもつておることが、いいことだと思いますね。悪いことというと、あまり頭が良くないことで、もっと利口になりたい。

— 総理大臣としてどんなことをした時が一番嬉しいですか？

大平 一日、一所懸命仕事して、帰って床につく時に何も起こらなかったという時、自分が一所懸命に仕事をしたという満足感と日本の国中にそう嫌なことが起こらなかった日。そういう時は何となく嬉しいですね。

(記念撮影のあと、子供たちの拍手に送られて総理退場。「ありがと、ありがと」を繰り返しながら、百人の子供たち全員と握手をかわして退場。)